

【佐久穂町】 1人1台端末の利活用に係る計画 2025年3月

項目	内容
①1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿	1人1台端末及び高速大容量ネットワークを中心とするICT環境を前提としたデジタル学習基盤を活用することで、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実により、児童生徒が自ら興味や関心を持って粘り強く取り組み、他者との対話を通じて考えを広げ、知識を相互に関連づけてより深く理解する学びの実現を目指す。デジタルの優位性を生かすことにより、児童生徒が学習方法や学習過程、ツール等を自分で選択し、多様な他者と協働しながら、子ども一人一人が主語となる学習者主体の学びを実現する。併せて、すべての学習の基盤となる資質・能力である「言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力」及び「自己調整力」の育成を目指す。
②GIGA第1期の総括	GIGA第1期では、1人1台端末及び校内ネットワーク環境の整備を行い、これらを活用した学習支援アプリ、汎用クラウドツール、デジタル教材、学習者用デジタル教科書等を導入してICT環境の充実を図るとともに、ICT支援員を配置してハード・ソフトの両面から支援するなど、個別最適な学びと協働的な学びを実現できるよう環境を整えてきた。ICTを活用した授業が広がってきている一方で、従来の単線型の授業からデジタル学習基盤を前提とした複線型の授業への移行等については今後の課題であり、リーディングDXスクール等の実践事例等を共有するなどして授業改善につなげていく。
③1人1台端末の利活用方策	【1人1台端末の活用】 1人1台端末環境を引き続き維持し、各教科の授業や総合的な学習の時間、児童会生徒会活動、校外学習、家庭学習等、校内外の様々な場において、積極的な利活用を進める。 【個別最適・協働的な学びの一体的な充実】 デジタル学習基盤を活かし、児童生徒が学習方法や学習過程等を自分で選択し、自己調整しながら学習を進められる環境を整えるとともに、リーディングDXスクールや先進的な実践事例等を共有するなど、研修を通して授業観を更新し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を実現していく。 【学びの保障(臨時休業等の緊急時・不登校対策・特別支援教育・外国人児童生徒)】 児童生徒が多様化し学校が様々な課題を抱える中にあっても、誰一人取り残すことなく学びを保障していく。そのために、全ての児童生徒が、自宅等学校外場で端末を活用して学びを進められるように環境を整える。また、学校や学級になじめない児童生徒には、学校や教育支援センター等が連携しながら、オンライン授業や録画授業等を提供する等、場や時間に左右されない学びの環境を保障していく。オンラインでの相談やサポートができる環境も整える。特別な支援が必要な児童生徒に対しては、必要な支援内容に配慮したデジタル教材・教具等を提供する等、学びやすい環境を整えるとともに、全ての児童生徒が学びやすい環境を整えるために、学習者用デジタル教科書等を活用する。